

建築研究所ニュース



平成 26 年 9 月 9 日

20 名の研修生が参加した 1 年間の国際地震工学研修の
閉講式が 9 月 11 日に建築研究所で執り行われます。

独立行政法人建築研究所では、毎年開発途上国から若い研究者や技術者を招き、地震学・地震工学・津波防災に関する 1 年間の「国際地震工学研修」を国際協力機構（以下 JICA）と協力して行っています。1960 年に開始以来、今回の修了生 20 名を含めて、現在 81 ヶ国から 1,098 名の研修生を受け入れています。

この 1 年間の「国際地震工学研修」は、建築研究所及び政策研究大学院大学（GRIPS）、JICA との連携により、所定の単位を取得すれば、修士号の取得が可能な研修となっています。

昨年 10 月に開講した「第 54 回国際地震工学研修」は、参加した 12 ヶ国 20 名の研修生が、1 年間の研修を修了し、修士号学位を取得しました。閉講式は、9 月 11 日（木）11:00～建築研究所 2 階講堂において行われます。

過去の研修修了生では、インドネシア教育文化省のサントソ高等教育局長（バンドン工科大学前学長）（1979 年修了）やパキスタン気象庁のアリフ長官（1986 年修了）らを輩出しております。

<参考：研修生の出身国名（12 ヶ国＝20 名）>

アルジェリア、アルメニア、バングラデシュ（2）、エルサルバドル、インドネシア（4）、ミャンマー（2）、ネパール、ニカラグア、パキスタン（2）、ペルー（2）、トルコ（2）、ベネズエラ（ABC 順）

うち地震学・地震工学コース 16 名、津波防災コース 4 名

なお、国際地震工学センターの短期コースを含めた全研修修了生は、今回の修了生を含めて 99 ヶ国 1,653 名になります。

ご面倒ですが記事掲載の折には、その記録を留めるため、下記問い合わせ先へお知らせ下さい。

（内容の問合せ先）

独立行政法人建築研究所
所 属 国際地震工学センター
管理室長
氏 名 飯場 自子
電 話 029-879-0678(直通)
E-mail yiiba@kenken.go.jp